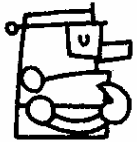


小 / 理科 / 6年 / 物質とエネルギー /
物の燃え方と空気 / 理解シート

スチールウールって、なんなの



鉄をうすく細く切って糸のようにし、丸めたもの。なべのさびなどを、こすり落とすのに使うものさ。

スチールウールは、鉄をうすくのばして細く切り、糸のようにしたものをからめてあります。スーパーマーケットなどの台所用品売場で探してみると、ポリぶくろのような中に、8～10個ぐらい入った形で売られていることが多いようです。台所で、こげついて落ちにくくなったなべのよごれや、さびをこすり落とすときなどに使われます。（洗剤せんざいなどがぬられたスチールウールもふえていますが、これは実験には使えません）。

うすく細く切った鉄は、やわらかく、表面積も大きくなり、熱しやすく、化学変化も起こりやすく、いろいろな実験に使うのには便利なものです。

くぎなどの太い鉄は、空気中でも酸素中でも燃えません。スチールウールなら、赤くなったり、火花を出して燃え、空気中の酸素と結びつき、酸化鉄という、鉄とはちがった性質をもつ、別の物に変わります。

スチールウールは、空気中で変化しやすい

スチールウールは、しめり気の多い空気中では、酸素や水分のはたらきで、表面に少しずつ赤いさびができ、鉄とはちがう性質に変化します。かわいた空気中でも、酸素と少しずつ結びつき、表面に酸化鉄ができて、黒っぽくなります。

赤さびがついたり、表面が黒くなったスチールウールを実験に使うと、正しい実験ができません。スチールウールは、新しい物を使うか、空気だつさんそざいにふれないようにしたり、脱酸素剤を入れてしまっだつさんそざいて置いたものを使いましょう。



スチールウールって、
鉄のたわしみたいな物ね。